

災害時のトイレ・ 下水道フォーラム

災害時のトイレの質をマンホールトイレから考える

下水道展
'26 東京

参加費
無料

災害対応においては、これまでの「場所（避難所）を支援する」という考え方から、「人（避難者）を支援する」という考え方へと転換が進んでいます。被災者の健康を守り、災害関連死を防ぐためには、避難生活の質の向上が重要であり、そのための環境整備が求められています。

トイレについても同様であり、発災直後から安全で衛生的、かつ安心して利用できるトイレ環境を確保することが重要です。約432万人の身体障害者（内閣府『令和7年版障害者白書』より）を含む多様な人々が避難生活を送ることを想定すると、下水道を活用するマンホールトイレは、比較的段差が少ない構造とされることもあり、要配慮者を含む多様な避難者が利用できるトイレとして期待されています。一方で、設置場所や利用環境、運用面などにおいて課題も指摘されています。

本フォーラムでは、障害当事者団体および先進的にマンホールトイレの整備を進めている自治体を講師に迎え、当事者の視点と現場の取組を踏まえながら、マンホールトイレを活用した質の高い災害時トイレ環境の確保について議論します。

また、災害用トイレのメーカーなどによる展示も行いますので、ぜひご参加ください。

● 日 時：2026年8月7日（金）13：00～16：00（12：00 受付開始およびパネル展示見学）

● 会 場：東京ビッグサイト 会議棟6階 607+608会議室

● プログラム：

12：00 【受付開始】

災害用トイレなどの展示見学

13：00 【開会挨拶】

公益社団法人日本下水道協会

13：05 【趣旨説明】災害時におけるトイレ問題

特定非営利活動法人日本トイレ研究所

13：25 【講演】要配慮者がトイレで困ること

上原 大祐 氏（認定NPO法人D-SHiPS32 代表、パラアイスホッケー銀メダリスト）

14：05 【休憩および災害用トイレなどの展示見学】

14：35 【発表】「発災後72時間」を乗り切るためマンホールトイレ整備の取組み

小泉 雄司 氏（柏市上下水道局 下水道工務課 課長補佐）

15：05 【意見交換】

パネリスト：上原 大祐 氏（認定NPO法人D-SHiPS32 代表、パラアイスホッケー銀メダリスト）

小松 海里 氏（国土交通省 水管理・国土保全局 下水道事業課

事業マネジメント推進室（上下水道審議官グループ）課長補佐）

小泉 雄司 氏（柏市上下水道局 下水道工務課 課長補佐）

進行：特定非営利活動法人日本トイレ研究所

16：00 【閉 会】

※プログラムは変更となる場合がございますので、ご了承ください

主催：公益社団法人日本下水道協会

企画・運営：特定非営利活動法人日本トイレ研究所

参加申し込み方法

下記のQRコードもしくはURLからお申込ください



<https://www.toilet.or.jp/studies-forums/gesuidouten2026>

※定員に達した場合は入場をお断りすることがございますので、事前申し込みをお願いいたします

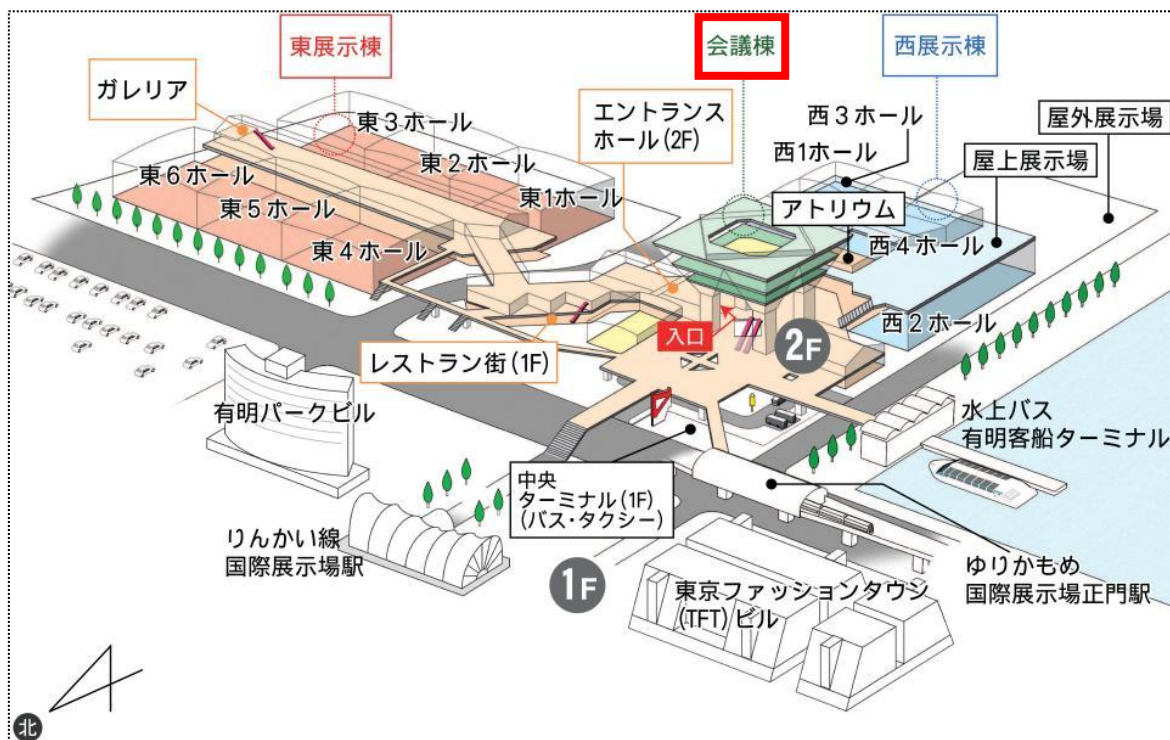
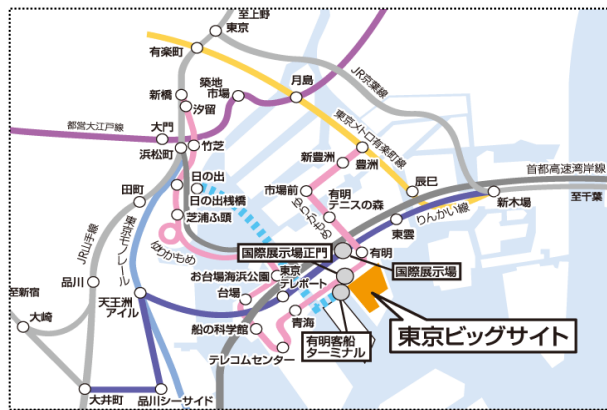
※定員は変更させていただく場合がございます

※ご提供いただいた個人情報は、当研究所の活動の案内等に使用させていただきますが、第三者に提供することはありません

会場アクセス

東京ビッグサイト会議棟6階 607+608会議室

- ゆりかもめ「国際展示場正門駅」下車 徒歩 3分
- りんかい線「国際展示場駅」下車 徒歩 7分
- 水上バス「有明客船ターミナル」下船 徒歩 2分



問合先

特定非営利活動法人日本トイレ研究所 〒105-0004 東京都港区新橋 5-5-1 IMCビル新橋 9F
TEL : 03-6809-1308 FAX : 03-6809-1412 E-mail : laboseminar@toilet.or.jp